

彦根市子ども・若者プラン 計画目標値・実績値

資料1-1

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値	実績値						令和3年度		令和3年度実績値等に対する担当課意見	
				令和6年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況		
1 子ども・若者の健やかな育ちに向けたまちづくり													
1	◎彦根市子ども・若者総合相談センターの相談者数(延べ人数) 【4】【5】	子ども・若者課	590人	800人	1,086人	1,104人					100.0%	○	【実績値に関する意見】 内訳は、総合相談延べ1104人、カウンセリング延べ255人。 【実績値以外の事項に関する意見】 コロナ禍において対面の面接が減り、電話、メール等のやりとりは増加したが、すでに他機関へ相談したり、他の居場所等へ参加した結果、当機関へ来所されるケースが多く、さらに他機関へ繋げるのは困難であった。 令和4年度からは成人年齢が18歳に引き下げられることに伴い、あすくる彦根(非行少年等立ち直り支援)の対象年齢も18歳まで引き下げとなるため、外部委託していた子ども若者総合相談センターを少年センターへ統合し直営化することで、切れ目のないきめ細かな支援体制を図っていく。
2	彦根市子ども・若者総合相談センターの相談者数(実人数) 【4】【5】	子ども・若者課	70人	100人	77人	89人					89.0%	△	【実績値に関する意見】 内訳は、総合相談89人、カウンセリング15人。1人当たりの相談件数が増加している。 【実績値以外の事項に関する意見】 令和4年度からは成人年齢が18歳に引き下げられることに伴い、あすくる彦根(非行少年等立ち直り支援)の対象年齢も18歳まで引き下げとなるため、外部委託していた子ども若者総合相談センターを少年センターへ統合し直営化することで、切れ目のないきめ細かな支援体制を図っていく。
3	博物館体験学習参加実人数 【21】	彦根城博物館	5人	80人	-	36人					45.0%	△	【実績値に関する意見】 目標値は2つのイベントの参加者を足したもので、それぞれ定員は40人。3年度はそのうちの1つしか実施できなかったため実績値としては参考にならないが、実施できたキッズサマースクールについては、目標値にかなり近い数字であると考え。 【実績値以外の事項に関する意見】 キッズサマースクールは定員を超える申し込みがあり、イベントへの関心の高さを感じている。中止となった「わくわく体験スクール」については、コロナ禍での飲食を伴うイベントの安心安全な実施方法を検討する必要がある。
4	子ども文芸作品応募数 【23】	文化振興課	5,093点	7,000点	7,778点	8,378点					100.0%	○	【実績値に関する意見】 令和3年度は令和2年度に引き続き目標を達成することができた。 【実績値以外の事項に関する意見】 作品の募集については、市内の小・中学校(県立学校も含む)すべてに依頼をし、特に市立学校については各校の国語科主任と連携し国語科の授業の一環等で取り組むことにより事業実施についての周知を深め、文芸人口の増加を目指す。
5	図書館の未就学児の登録者数 【24】	図書館	840人	1,000人	742人	727人					72.7%	▼	【実績値に関する意見】 令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染対策のための利用制限、おはなし会・ブックスタート事業の中止・縮小等の影響により、登録者数が減少した。 【実績値以外の事項に関する意見】 図書館を安心して利用してもらえるよう、感染対策を徹底するとともに、利用者にも協力を呼びかけた。また市内感染状況に応じて、十分な感染対策を行いながら、展示やおはなし会を実施することで、魅力ある図書館づくりに努めた。その結果、実績値は減少したが、登録率は前年度同水準を維持した。(令和4年3月末住民数6,117人 12%、令和3年3月末住民数6,398人 12%) 今後も、感染対策を充分におこないながら、図書の魅力を伝える情報発信や展示、イベントを実施することで登録者数の増加を目指す。

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値	実績値						令和3年度		令和3年度実績値等に対する担当課意見	
				令和6年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況		
2 子ども・若者の育ちに応じたまちづくり													
6	地域子育て支援センターの整備【34】【35】【39】	子ども・若者課	3か所	4か所	3か所	3か所					75.0%	□	【実績値に関する意見】 子どもセンター(きらきらひろば)、ピバシティ彦根(まんまるひろば)、東山児童館(チャチャチャひろば)の3か所で地域子育て支援センターを開設した。 【実績値以外の事項に関する意見】 子ども・若者プランの計画に基づき、令和4年度から認定こども園ひかりの森(さんさんひろば)で地域子育て支援センターを新たに1か所開設し、地域における子育て支援の充実を図る。
7	保育所待機児童の解消【47】【50】【51】	幼児課	29人	0人	56人	9人					0.0%	△	【実績値に関する意見】 令和3年4月から、認可外保育施設から地方裁量型認定こども園に移行した施設1園、既存施設の増築により定員を増加した施設2園の整備により、量的拡充を行った結果、利用児童数が増加した。 【実績値以外の事項に関する意見】 令和4年度からの利用定員拡大のため、新規園を含む民間施設の整備に対して補助金の交付を行った。
8	利用児童数(2号、3号)	幼児課	2,739人	3,057人	2,787人	2,816人					92.1%	△	【実績値に関する意見】 令和3年4月から、認可外保育施設から地方裁量型認定こども園に移行した施設1園、既存施設の増築により定員を増加した施設2園の整備により、量的拡充を行った結果、利用児童数が増加した。 【実績値以外の事項に関する意見】 令和4年度からの利用定員拡大のため、新規園を含む民間施設の整備に対して補助金の交付を行った。
9	保育士数	幼児課	719人	834人	747人	754人					90.4%	△	【実績値に関する意見】 令和3年4月から認可外保育施設から地方裁量型認定こども園に移行したことにより、当該施設分の保育士数が増加となった。 【実績値以外の事項に関する意見】 保育士確保に向けた取組として保育士フェアの開催や大学等への訪問などを行うとともに、各施設長等を対象としたマネジメント研修の実施や奨学金返済支援、宿舍借り上げ支援など、保育士の定着に向けた取組を併せて実施した。
10	児童生徒の全国学力学習状況調査における正答率の全国平均との差(小学校)【55】【56】	学校教育課	-1.1%	0.6%	-	-2.5%					95.8%	▼	【実績値に関する意見】 各校で取組を進めたが、全国平均との差を縮めるには至らなかった。これまでの取組の成果と課題を分析し、第Ⅱ期彦根市学力向上推進プランを見直して作成した第Ⅲ期彦根市学力向上推進プラン(学び実感ひこねプラン)に則って、各校の取組を充実させることにより、学力の向上を図る。 【実績値以外の事項に関する意見】 学ぶ力向上推進リーダー研修会を実施し、確かな学力の向上に向けた令和3年度の市の重点取組である「家庭学習の充実に向けた中学校ブロックの共通実践」および「OJT活性化」に年間通して取り組むことにより、中学校ブロックの共通実践、校内におけるOJTの実施が定着してきた。次年度も継続して取り組むことで、児童の確かな学力の育成を図る。

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値 令和6年度	実績値					令和3年度		令和3年度実績値等に対するの担当課意見
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況	
11 児童生徒の全国学力学習状況調査における正答率の全国平均との差(中学校) 【55】【56】	学校教育課	-1.8%	0.6%	-	-1.4%				97.1%	△	【実績値に関する意見】 令和元年度と比較すると、全国平均との差を縮めることができた。これまでの取組の成果と課題を分析し、第二期彦根市学力向上推進プランを見直して作成した第三期彦根市学力向上推進プラン(学び実感ひこねプラン)に則って、各校の取組を充実させることにより、学力の向上を図る。 【実績値以外の事項に関する意見】 学ぶ力向上推進リーダー研修会を実施し、確かな学力の向上に向けた令和3年度の市の重点取組である「家庭学習の充実に向けた中学校ブロックの共通実践」および「OJT活性化」に年間通して取り組むことにより、中学校ブロックの共通実践、校内におけるOJTの実施が定着してきた。次年度も継続して取り組むことで、生徒の確かな学力の育成を図る。
12 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点(小5男子) 【56】	学校教育課	55.24点	56.00点	-	52.00点				92.9%	▼	【実績値に関する意見】 彦根市の平均値は全国平均よりも低い、滋賀県平均よりは高い数値を示した。 【実績値以外の事項に関する意見】 8種目の中で、上体起こし、反復横跳びが、全国平均滋賀県平均を上回る結果であった。
13 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点(小5女子) 【56】	学校教育課	56.30点	57.00点	-	53.64点				94.1%	▼	【実績値に関する意見】 彦根市の平均値は全国平均よりも低い、滋賀県平均よりは高い数値を示した。 【実績値以外の事項に関する意見】 8種目の中で、長座体前屈が、全国平均滋賀県平均を上回る結果であった。
14 ◎彦根市子ども・若者支援地域協議会実務者会議の参加団体・機関等数 【3】【81】【82】	子ども・若者課	31団体	40団体	38団体	49団体				100.0%	○	【実績値に関する意見】 社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者を包括的に支援し関係機関等のネットワークの構築を図る子ども・若者支援地域協議会(子どもの貧困対策含む)については、代表者会議を1回、実務者会議を3回実施した。 【実績値以外の事項に関する意見】 今年度は、当事者ニーズを聞いていないという課題に対して、当事者へのアンケート調査を実施した。約70件の回答をいただき、とても貴重なアンケートとなった。今後、行政や実務者会議の支援機関が当事者ニーズをどれだけ反映させることができるのかが重要となる。また、テーマに応じて関連団体を絞りながら協議会を開催できるよう検討していく。
3 みんなが共に育つために子ども・若者を支援するまちづくり											
15 家庭相談件数(実人数) 【87】【88】【90】	子育て支援課	766件	947件	838件	964件				100.0%	○	【実績値に関する意見】 相談件数は想定を上回るペースで増加している。これは、市が行っている家庭児童相談の認知度上昇による他機関からの紹介件数の増加に加え、個々の相談者が抱える困難が複雑化しており、その解決に至るまでの期間が長期化傾向にあるためと考えている。 【実績値以外の事項に関する意見】 相談者が抱える困難は複数の要因が絡まりあっているものが多く、その対応には多機関連携が益々重要となっている。

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値 令和6年度	実績値					令和3年度		令和3年度実績値等に対する担当課意見
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況	
16 ひとり親家庭への就労支援による就職件数 【116】【117】	子育て支援課	14件	20件	13件	4件				20.0%	▼	【実績値に関する意見】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、児童扶養手当の現況届を郵送で受け付けたことで面談の機会が大きく減ったこと、ひとり親家庭の雇用状況が深刻な状況であることから実績値が減少したと考えている。 【実績値以外の事項に関する意見】 社会福祉課と連携をとり、生活保護の受給者についてケースワーカーから紹介され、就労につながった事例があり、他課と連携しながら就労支援を広げていきたい。
17 ◎地域での子どもの居場所の整備 (学べる場・子ども食堂) 【129】【197】	子ども・若者課	9か所	24か所	24か所	26か所				100.0%	○	【実績値に関する意見】 内訳：現在活動中の団体としては、学べる場10か所、子ども食堂16か所の計26か所ある。(うち、いい場所づくり事業補助金交付団体は9団体。) 【実績値以外の事項に関する意見】 コロナ禍において子ども食堂の運営が難しいなか、参加される家庭の現状を把握するために、お弁当配布に切り替えるなどの工夫をしながら子ども食堂を継続していただき大変ありがたい。 補助金は制度上3年を限度としており、今年度末で3年経過する団体が多数あるため、次年度以降、補助が終了となった団体の運営状況等に留意していく必要がある。
4 子ども・若者と子育て家庭にやさしいまちづくり											
18 夜9時までには寝ている3歳児の割合 【150】【180】	健康推進課	54.6%	59.0%	50.2%	52.9%				89.7%	▼	【実績値に関する意見】 乳幼児健康診査で、「規則正しい生活リズム」の啓発チラシを配布し、保護者に対して生活リズムについて啓発することができた。 【実績値以外の事項に関する意見】 今後も乳幼児健康診査だけではなく、個別相談や離乳食教室など様々な機会を通じて、生活リズムについて啓発していく。
19 むし歯のない3歳児の割合 【150】【180】	健康推進課	84.7%	90.0%	89.6%	89.0%				98.9%	△	【実績値に関する意見】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8・9月の乳幼児健康診査を延期したが、振替の日程を設け、幼児健診で歯みがき指導やフッ素塗布、歯科健診を実施することができた。 【実績値以外の事項に関する意見】 引き続き、幼児健診で歯磨き指導や口腔内の清潔について啓発していくとともに、個別相談や健康教室などの機会を通じて、虫歯を予防する食生活や生活リズム等について啓発していく。
20 小学校区単位で結成される自主防犯活動団体結成数 【160】	まちづくり推進課	13団体	17団体	13団体	13団体				76.5%	□	【実績値に関する意見】 現在、市内17学区中、13学区で自主防犯活動団体が結成されている。引き続き、残りの小学校区に対して結成の支援を行っていく。 【実績値以外の事項に関する意見】 現在、自主防犯活動団体は13団体であるが、団体により活動の実態は様々で、また、残り4小学校区については、小学校区単位での団体結成は進まないものの、市内全体としては防犯意識は高く、指標自体の見直しを検討する必要があると感じている。
21 子ども110番の家の設置数 【160】【163】	少年センター	2,069か所	2,236か所	2,083か所	2,066か所				92.4%	▼	【実績値に関する意見】 高齢により辞退される方が増えている。各学区の青少年育成協議会にて広く広報してもらい新規開拓を進める必要がある。 【実績値以外の事項に関する意見】 子どもたちに対して、「子ども110番の家」が近くにない場合の対応についても各学区の青少年育成協議会等と学校が連携して指導していく必要がある。

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値 令和6年度	実績値					令和3年度		令和3年度実績値等に対する担当課意見
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況	
22 ◎養育支援訪問件数 【211】【219】	子育て支援課	1,253件	1,549件	1,028件	1,147件				74.0%	▼	【実績値に関する意見】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、必要性を検討の上、訪問を実施したため、平成30年度実績より訪問件数が減少している。しかしながら、支援を必要とする家庭では対面による対応が必要なケースが多くあるため、前年度よりは件数が増加した。 【実績値以外の事項に関する意見】 訪問することでしか確認や対応できないことも多く、限られた訪問機会でも効果的な面接および確認ができるようにする必要がある。
23 乳児家庭全戸訪問率 【149】【223】	健康推進課	98.0%	100.0%	65.9%	82.0%				82.0%	▼	【実績値に関する意見】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4・5・10・2・3月は対面訪問を中止し、資料の投函のみとした。また、8・9月はまん延防止等重点措置、緊急事態宣言を受け訪問を全面中止したが、対象者を10月以降に延期とし、11・12・1月で対面訪問を再開したため、前年度より訪問数は増加した。 【実績値以外の事項に関する意見】 新型コロナウイルス感染症の影響で、対面での訪問ができない時期もあるが、感染拡大状況に応じて実施方法を検討し、引き続き実施していく。
5 すべての子どもが希望をもって成長できるまちづくり											
24 家庭支援推進保育士の配置 【47】【117】	幼児課	11園	13園	11園	12園				92.3%	△	【実績値に関する意見】 公立園4園、民間園8園に家庭支援推進保育士を配置し、家庭支援を行った。 【実績値以外の事項に関する意見】 令和3年度は、各園に配置する家庭支援推進保育士の他に、各施設を巡回し指導、支援する地域連携推進員を2名配置し、支援内容の充実を図った。
25 就学援助認定基準の拡大 【178】	学校教育課	生活保護の基準の1.2倍	拡大	継続	生活保護の基準の1.2倍				-	□	【実績値に関する意見】 就学援助の認定基準として、生活保護基準額に一定の係数(1.1~1.5倍)を掛けたものを設定している自治体が多い。中でも、彦根市のように「生活保護基準の1.2倍を超え、1.3倍以下」の基準を設定している自治体は最も多く、全国で4割に及ぶ(令和3年度就学援助実施状況調査)。 【実績値以外の事項に関する意見】 生活保護基準は社会保障、税、教育などの施策の適応基準になっていることから、基準の拡大については他制度の状況を確認し検討する必要がある。
26 スクールソーシャルワーカーの配置 【183】【222】	学校支援・人権・いじめ対策課	1名	2名	2名	2名				100.0%	○	【実績値に関する意見】 市内全ての小中学校に派遣し、適切な見立てのもと、支援の充実を図った。 【実績値以外の事項に関する意見】 引き続き、関係機関等との連携に努め、支援体制の充実を図っていきたい。
27 【再掲】 ◎地域での子どもの居場所の整備 (学べる場・子ども食堂) 【129】【197】	子ども・若者課	9か所	24か所	24か所	26か所				100.0%	○	【実績値に関する意見】 内訳：現在活動中の団体としては、学べる場10か所、子ども食堂16か所の計26か所ある。(うち、いい場所づくり事業補助金交付団体は9団体。) 【実績値以外の事項に関する意見】 コロナ禍において子ども食堂の運営が難しいなか、参加される家庭の現状を把握するために、お弁当配布に切り替えるなどの工夫をしながら子ども食堂を継続していただき大変ありがたい。 補助金は制度上3年を限度としており、今年度末で3年経過する団体が多数あるため、次年度以降、補助が終了となった団体の運営状況等に留意していく必要がある。

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値 令和6年度	実績値					令和3年度		令和3年度実績値等に対する担当課意見
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況	
28 若者の居場所の整備 【102】【199】	子ども・若者課	2か所	3か所	2か所	2か所				66.7%	□	【実績値に関する意見】 前年度と同様の2か所となっている(彦根市子ども・若者総合相談センターと通信サロン)。 【実績値以外の事項に関する意見】 財政が厳しい中、1か所増やすのは厳しい状況にある。補助金等の活用も含め、新たな実施方法等の研究も必要と考えている。
29 ひとり親家庭の子どもに対する学びと食の支援による居場所参加人数 【200】	子育て支援課	12人	16人	6人	8人				50.0%	▼	【実績値に関する意見】 新型コロナウイルス感染拡大に対して、リモートで実施するなどの対策を行い、参加人数は令和2年度と比較して増加したが、目標値には届いていない。 【実績値以外の事項に関する意見】 不登校児について保護者の了承を得て中学校と連携できた。中学校卒業後に高校生になっても引き続き関りを継続している事例があり、参加対象者を中学生だけでなく高校生にまで広げていくことを検討する。
30 子育て短期支援事業受入施設数 【38】【201】	子育て支援課	4か所	6か所	4か所	4か所				66.7%	□	【実績値に関する意見】 新たに受け入れ可能な里親の確保を進めていく必要がある。滋賀県が委託している里親支援機関(フォスタリング機関こぼと)とも情報共有を図っていく。 【実績値以外の事項に関する意見】 トワイライトステイ(夕方から夜間にかけての短時間利用)の利用がない状態であるため、ニーズの確認が必要と考えている。
31 自立支援教育訓練給付・高等職業訓練促進給付金受給者数(のべ人数) 【206】	子育て支援課	21人	52人	32人	35人				67.3%	△	【実績値に関する意見】 コロナ禍により休校や課題提出も頻繁にあるなか、資格取得に向けて真面目に取り組む受講者の姿があった。 【実績値以外の事項に関する意見】 令和4年度は制度が拡充される予定であり、積極的に周知することで、ひとり親家庭の資格取得を促進し、就労支援による継続雇用へ繋げていく。
32 ひとり親家庭向け市営住宅の募集 【214】	建築住宅課	1件/年間	1件/年間	1件/年間	1件/年間				100.0%	○	【実績値に関する意見】 令和3年度もひとり親世帯向け住宅の募集を実施し、新規入居があった。ひとり親世帯からの一定のニーズがあることは募集期間内外で確認できているため、引き続き公営住宅の需給推移(空室状況)を注視しながら、ひとり親世帯の入居希望に対して支援を継続していく。 【実績値以外の事項に関する意見】 今後さらにひとり親世帯からの要望が増加した場合、ひとり親家庭向けの部屋には上限があるため、要望のすべてにお答えすることができない点についてどのような改善策があるかを検討していくことも必要である。
33 ◎彦根市子ども・若者支援地域協議会実務者会議の参加団体・機関等数 【再掲】 【3】【81】【82】	子ども・若者課	31団体	40団体	38団体	49団体				100.0%	○	【実績値に関する意見】 社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者を包括的に支援し関係機関等のネットワークの構築を図る子ども・若者支援地域協議会(子どもの貧困対策含む)については、代表者会議を1回、実務者会議を3回実施した。 【実績値以外の事項に関する意見】 今年度は、当事者ニーズを聞いていないという課題に対して、当事者へのアンケート調査を実施した。約70件の回答をいただき、とても貴重なアンケートとなった。今後、行政や実務者会議の支援機関が当事者ニーズをどれだけ反映させることができるのかが重要となる。また、テーマに応じて関連団体を絞りながら協議会を開催できるよう検討していく。

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値	実績値						令和3年度		令和3年度実績値等に対する担当課意見	
				令和6年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率	達成		
										(%)	状況		
34 ◎地域資源を掘り起こし、育成する体制の構築【230】	子ども・若者課	整備	構築	整備	整備						-	□	【実績値に関する意見】 彦根市社協へ業務を委託している。地域の情報収集および一覧化463件、相談・支援体制の充実90件、ネットワーク形成51件、市民啓発・情報発信21件、仕組みづくり59件。 【実績値以外の事項に関する意見】 当該活動が、地域での子どもの居場所づくり等へ繋がっている。活動者間の情報交換や課題の共有、新たに子ども・若者支援に関わる人を増やしていくためにも、「子ども・若者の居場所づくり活動者交流会」や「子ども・若者支援ボランティア講座」の開催による地域資源の掘り起こしや人材育成をしていく必要がある。
6 教育・保育環境の整備													
35 利用者支援事業実施箇所数【33】【43】【136】	子ども・若者課 健康推進課	2か所	2か所	2か所	2か所						100.0%	○	【実績値に関する意見】 昨年度に引き続き彦根市福祉センターと彦根市くすのきセンターの2か所で利用者支援事業を実施した。 【実績値以外の事項に関する意見】 福祉センターでは保育サービス等に関する相談、くすのきセンターでは母子保健等に関する相談を受けているが、適切な施設や事業等をスムーズに利用できるよう支援することで子育てのしやすい環境を整える。
36 放課後児童クラブ受入児童数【71】～【74】	生涯学習課	1,393人	1,437人	1,652人	1,541人						100.0%	○	【実績値に関する意見】 利用希望児童をすべて受け入れることができた。利用児童を安全に保育するために保育現場と学校、教委、保護者が連携・協力を意識して運営し、子どもたちの育ちを見守り、子育ての支援を行った。 【実績値以外の事項に関する意見】 長引くコロナ禍で、できる限りの対策に取り組み、社会活動を維持するために保育を止めることなく実施した。また感染防止対策でもあるタブレット学習課題に対応し、WiFi環境整備やアプリ活用による迅速な緊急連絡体制の構築等、保育環境の充実に取り組んだ。
37 【再掲】 子育て短期支援事業受入施設数【38】【201】	子育て支援課	4か所	6か所	4か所	4か所						66.7%	□	【実績値に関する意見】 新たに受け入れ可能な里親の確保を進めていく必要がある。滋賀県が委託している里親支援機関(フォスタリング機関こぼと)とも情報共有を図っていく。 【実績値以外の事項に関する意見】 トワイライトステイ(夕方から夜間にかけての短時間利用)の利用がない状態であるため、ニーズの確認が必要と考えている。
38 【再掲】 乳児家庭全戸訪問の訪問割合【149】【223】	健康推進課	98.0%	100.0%	65.9%	82.0%						82.0%	▼	【実績値に関する意見】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4・5・10月は対面訪問を中止し、資料の投函のみとした。また、8・9月はまん延防止等重点措置、緊急事態宣言を受け訪問を全面中止したが、対象者を10月以降に延期とし、11・12月で対面訪問を再開したため、前年度より訪問数は増加した。 【実績値以外の事項に関する意見】 新型コロナウイルス感染症の影響で、対面での訪問ができない時期もあるが、感染拡大状況に応じて実施方法を検討し、引き続き実施していく。
39 【再掲】 養育支援訪問件数【219】【228】	子育て支援課	1,253件	1,549件	1,028件	1,147件						74.0%	▼	【実績値に関する意見】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、必要性を検討の上、訪問を実施したため、平成30年度実績より訪問件数が減少している。しかしながら、支援を必要とする家庭では対面による対応が必要なケースが多いため、前年度よりは件数が増加した。 【実績値以外の事項に関する意見】 訪問することでしか確認や対応できないことも多く、限られた訪問機会でも効果的な面接および確認ができるようにする必要がある。

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値 令和6年度	実績値					令和3年度		令和3年度実績値等に対する担当課意見
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況	
40 【再掲】 地域子育て支援センターの整備 【34】【35】【39】	子ども・若者課	3か所	4か所	3か所	3か所				75.0%	□	【実績値に関する意見】 昨年度と同様に子どもセンター(きらきらひろば)、ピバシティ彦根(まんまるひろば)、東山児童館(チャチャチャひろば)の3か所で地域子育て支援センターを開設した。 【実績値以外の事項に関する意見】 子ども・若者プランの計画に基づき、令和4年度から認定こども園ひかりの森(さんさんひろば)で地域子育て支援センターを新たに1か所開設し、地域における子育て支援の充実を図る。
41 保育所における一時預かり事業の実施 【53】	幼児課	15園	18園	10園	13園				72.2%	▼	【実績値に関する意見】 新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度に引き続き受入を休止している園があったが、昨年度と比べて実施園数が回復している。 【実績値以外の事項に関する意見】 令和4年度からの新規園に対し、一時預かり事業の実施に向けた調整を行った。
42 病児・病後児保育事業の利用人数 【37】	幼児課	564人	660人	202人	454人				68.8%	▼	【実績値に関する意見】 令和2年度は新型コロナウイルス感染症により利用者が大きく減少していたが、令和3年度は感染者数が比較的少数であった6～8月を中心に利用者が回復している。 【実績値以外の事項に関する意見】 利用者アンケートを実施したところ、概ね利用者の満足度を満たしているが、まだ病児保育の認知度が低いことから、今まで利用したことがない方にも事業周知の必要がある。
43 ファミリー・サポート・センター提供会員の確保 【42】	子ども・若者課	181人	194人	170人	155人				79.9%	▼	【実績値に関する意見】 令和3年度は未活動の会員が多く辞められたこともあり、昨年度より提供会員が減少したが、ポスター掲示等により会員募集の周知に努めた。 【実績値以外の事項に関する意見】 令和4年度は広報の特集号でファミリー・サポート・センターの記事を掲載する等更に周知活動を行い、事業内容を多くの方に知ってもらうことで、会員の増加を図る。
44 妊婦健康診査 受診回数 【133】	健康推進課	10,851回	13,300回	9,553回	9,026回				67.9%	▼	【実績値に関する意見】 母子手帳交付時の面接で妊婦健診について説明をし、妊婦健康診査受診券を発行しているが、月平均60件前後の妊娠届出数で年々減少傾向である。それに伴って妊婦健康診査受診回数も減少している。 【実績値以外の事項に関する意見】 年々妊娠届出数、出生数が減っており、少子化対策等の充実が必要と思われる。
計画目標値の達成率									81.1%		

※分野と指標の下の数字【】は、「彦根市子ども・若者プラン(第2期)」の第4章施策の展開に掲載されている施策の番号になります。

※達成率は、(令和3年度状況÷目標値)を%で表したものです。また、100%を超える場合は、100%としています。計算式が異なる場合は「-」としています。

※達成状況は、目標値が達成できた場合は○、目標値は達成できなかったが現況値よりも改善された指標は△、現況値から変更が無かった指標は□、現況値よりも後退した指標は▼としています。